



イメージキャラクター
ふくにゃん

ふれあいネットワーク
曾於市社会福祉協議会情報紙

第97号

令和7年10月15日



手と手

やさしさ
100パーセント



今号の表紙作品「みんななかよし」

第21回 曾於市社会福祉大会 福祉ポスター〔小学生低学年の部〕最優秀賞作品

みんななかよし

曾於市立財部南小学校 1年 有馬 茉莉花 さんの作品



理念 人と人とのつながりを大切に地域と共に歩む

発行／社会福祉法人 曾於市社会福祉協議会 曾於市財部町南俣 504 番地 1 (財部保健福祉センター内)

TEL : 0986-72-0460 ・ 0480 FAX : 0986-72-0425

第21回曾於市

～災害から考える 支え合う～



社会福祉大会

地域づくり～ 2025.08.23



令和7年8月23日（土）末吉総合センターで、第21回曾於市社会福祉大会を開催しました。500人を超える参加者が集まり、曾於市の福祉のまちづくりの推進を目的に、多年にわたり社会福祉の向上に尽力された方々の功績をたたえとともに、地域住民や福祉関係者一人ひとりが大会テーマの「災害から考える支え合う地域づくり」について共に考える貴重な機会となりました。



開催にあたり、バザー、ブース、ボランティア等、多くの方の大会運営へのご支援に対しまして深く感謝申し上げます。

曾於市社会福祉協議会は、今後も曾於市の住民一人ひとりが住み慣れた地域で安心して生活ができるまちづくりの実現に向けて取り組んでまいります。



①開催趣旨朗読 ②社協会長挨拶 ③市長挨拶 ④来賓祝辞 ⑤来賓・被表彰者 ⑥曾於市社会福祉協議会会長被表彰 ⑦長寿クラブ連合会会長表彰 ⑧被表彰者謝辞 ⑨⑩⑪最優秀福祉作文・ポスター表彰及び作文発表 ⑫司会進行 ⑬式典の様子 ⑭⑮受付の様子 ⑯⑰⑱⑲⑳バザー・ブース会場の様子 ㉑募金活動 ㉒ホール内の様子 ㉓学生ボランティア・実習生紹介 ㉔社協副会長閉会挨拶

曾於市社会福祉協議会会長・曾於市長寿クラブ連合会会長表彰

永年にわたり地域福祉活動に功績のあった方々への社会福祉協議会会長表彰、福祉団体長表彰、福祉作文及びポスター表彰が行われました。受賞者を代表して、太良木 義文 様が謝辞を述べられました。被表彰者の方々をご紹介します。（敬称略）

Ⅰ 社会福祉法人曾於市社会福祉協議会会長表彰

○表彰の部

民生委員・児童委員 Ⅰ名

民生委員・児童委員として、長年その職務に従事し、功績があった方
徳石 昭子

社会福祉施設の長及び職員並びに相談員等 4名

社会福祉施設の長及び職員並びに相談員等として、長年在職され、功績があった方
平田 智子 伊崎 和代 池井 智美 下野 瑛花

社会福祉団体等の役職員 7名

社会福祉団体等の役職員として、長年在職され、功績があった方
太良木 義文 横峯 梨恵子 摺木 利菜 池井 祐子 竹内 智子
渡邊 丈志 谷川 洋子

在宅福祉アドバイザー 9名

在宅福祉アドバイザーとして、地域の中で援護を必要とする方々への声かけや見守りを行い、その活動が他の模範となる方
今村 範子 西丸 國治 久長 登良男 岡部 千代子 中村 京子
吉田 末吉 前原 カツ子 東別府 孝征 小野 ミヤ子

地域篤行者 Ⅰ名

家庭及び地域福祉社会のなかで、その篤行が顕著であり、特に市民の模範となるにふさわしい方
畛ヶ山 治雄

○感謝の部

多額寄付者 Ⅰ名

社会福祉の向上及び増進のため、多大の金品を寄付された方
牧元 寶治

2 福祉団体長表彰

曾於市長寿クラブ連合会会長表彰 10名

長年にわたり、役員として貢献された方

藤崎 瀧雄 東 幸徳 愛甲 幸雄 愛甲 エツ子 吉永 辰美
神崎 憲幸 古川 美代子 大野 美由紀 山下 京子 八ヶ代 フサエ

第21回 曾於市社会福祉大会 福祉作文・福祉ポスター最優秀賞等一覧

市内の学校へ「おもしろい」をテーマに作品を募集したところ、福祉作文 14 点、福祉ポスター 149 点と、大変多くのご応募をいただきました。誠にありがとうございました。厳正な審査を行った結果、受賞者の方々は以下のとおり決定いたしました。

福祉作文最優秀賞 1 名

学校名	学年	氏名	作品名
月野小学校	6 年	天辰 彩良	笑顔をとどけて

福祉作文優秀賞 3 名

学校名	学年	氏名	作品名
櫛小学校	6 年	椎屋 諒亮	思いやりを伝えたい
柳迫小学校	5 年	福元 佑誠	みんなと給食を
柳迫小学校	4 年	三枝 初希	福祉って何だろう

福祉作文入選 5 名

学校名	学年	氏名	学校名	学年	氏名	学校名	学年	氏名
財部南小学校	6 年	水流 夢芽	柳迫小学校	6 年	飯島 大翔	光神小学校	2 年	有満 雫
櫛小学校	4 年	持田 聖心	柳迫小学校	6 年	三枝 悠			

福祉ポスター最優秀賞【小学校低学年の部、高学年の部】 2 名

学校名	学年	氏名	作品名
財部南小学校	1 年	有馬 茉莉花	みんななかよし
深川小学校	6 年	大迫 維千花	たすけ愛

福祉ポスター優秀賞 7 名

学校名	学年	氏名	作品名
櫛小学校	3 年	徳留 帆夏	困っていたら助けてあげよう
岩南小学校	3 年	園田 みなみ	世界中の人と歩んでいこう
財部南小学校	2 年	平田 実和	みんななかよし
大隅北小学校	5 年	田中 琉奈	とどけたいこと
大隅北小学校	5 年	中塚 彩澄沙	ふみ出そう 1 歩
菅牟田小学校	4 年	福留 悠太	心ってあったかいね
深川小学校	5 年	鶴巢 楓果	笑顔は無敵

福祉ポスター奨励賞 8 名

学校名	学年	氏名	学校名	学年	氏名	学校名	学年	氏名
大隅北小学校	3 年	伊地知 美結	柳迫小学校	2 年	福元 佑汰朗	諏訪小学校	6 年	折居 結柳
大隅北小学校	3 年	中島 悠	櫛小学校	5 年	前村 海来	月野小学校	6 年	吉岡 璃音
菅牟田小学校	2 年	池之上 紗希	岩川小学校	6 年	折尾 夏音			

福祉ポスター入選作品 22 名

学校名	学年	氏名	学校名	学年	氏名	学校名	学年	氏名
岩川小学校	2 年	峯崎 愛琉	財部南小学校	2 年	永吉 巧実	諏訪小学校	6 年	平田 莉菜
岩南小学校	1 年	永山 稟乃	財部南小学校	2 年	西丸 綾乃	月野小学校	4 年	上ノ瀬 滯
大隅北小学校	1 年	伊地知 友隆	財部南小学校	2 年	山下 芙心叶	柳迫小学校	6 年	重山 百咲妃
大隅北小学校	1 年	田中 南奈	柳迫小学校	1 年	瀬崎 友姫乃	光神小学校	4 年	樋口 瑞姫
大隅北小学校	1 年	吉國 心之亮	岩川小学校	6 年	平牟禮 麻陽	諏訪小学校	4 年	井上 愛望
大隅北小学校	3 年	田中 緑葉	岩川小学校	6 年	黒木 彩華	諏訪小学校	5 年	長谷川 ひなた
菅牟田小学校	2 年	田中 やえ	大隅北小学校	4 年	本鍋 咲良			
財部南小学校	2 年	田口 聖桜	菅牟田小学校	4 年	池之上 龍心			

令和7年度 福祉ポスター受賞者紹介

今年度も、たくさんの作文、ポスターの応募をいただきありがとうございました。福祉ポスター審査委員会で最優秀賞・優秀賞を受賞された作品と児童のみなさんを紹介します。



財部南小学校 1年 有馬 茉莉花さん
最優秀賞作品「みんななかよし」



深川小学校 6年
大迫 維千花さん
最優秀賞作品「たすけ愛」



深川小学校 5年
鶴巢 楓果さん
優秀賞作品「笑顔は無敵」



檉小学校 3年 徳留 帆夏さん
優秀賞作品「困っていたら助けてあげよう」



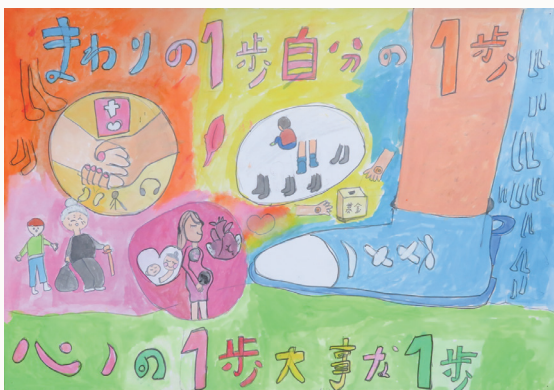
岩南小学校 3年 園田 みなみさん
優秀賞作品「世界中の人と歩いていこう」



財部南小学校 2年 平田 実和 さん
優秀賞作品「みんななかよし」



大隅北小学校 5年 田中 琉奈 さん
優秀賞作品「とどけたいこと」



大隅北小学校 5年 中塚 彩澄沙 さん
優秀賞作品「ふみ出そう1歩」



菅牟田小学校 4年 福留 悠太 さん
優秀賞作品「心ってあったかいね」



最優秀賞福祉作文【小学生の部】 月野小学校 六年

あまたつ
天辰 彩良さん

「笑顔をとどけて」

「きん張する・・・。」

私は、不安な気持ちのまま、ふれあい館に向かいました。頭では分かっているけど、やっぱりなんか怖い。移動のバスで、そんなことばかりがぐるぐると頭をめぐっていました。

二学期に入ってから、総合的な学習の時間で福祉を学びました。その中でも「高齢者福祉」を学び、「認知症」について勉強しました。ふれあい館から、佐々木さんと松本さんが来てくださり、認知症について分かりやすく話をしてくださいました。

ふれあい館は、認知症の方々はサポートしながら共同で生活をする施設です。認知症になると、脳や体に変化が見られ、今まで覚えていたことを忘れたり、状況が分からなくなったりしてしまいます。中には、激しい人もいて、勝手に外に出てしまったり、急にたいてくる人もいたりするのを聞いて、想像がつかない状況に逃げ出したくなるような気持ちになっていました。

ふれあい館に着くと、私たちは高齢者の方とペアになってお話をすることになっていました。

「こんにちは。」

とあいさつすると、

「こんにちは。」



と返ってきて、「おっ。返ってきた。よかった。」と笑顔になりました。

それから、

「私は、天辰彩良です。好きな食べ物は、いちごです。」と伝えると、名前や好きな食べ物や、これまでされていた仕事について教えてくださいました。「なんだあ。よかった。」と思っていると、「名前はなんて言うの。」

と聞かれて、固まってしまいました。「笑顔でやさしく、相手の目を見て、ゆっくり話す」を目標にしていたが、動揺を隠せませんでした。それが、何度も続きました。緊張もあるし、高齢者の方の表情もくもっていくのが分かりました。すると、スタッフの方が

「〇〇さん、子どもたちが〇〇さんのこと知りたいって。教えてあげて。」

と、しゃがみながらかたをさわってにこやかに言うと、高齢者の方にもこにこしながら話をしていました。スタッフの方の対応に圧倒されました。同じ事を聞かれていても平然と対応しているのはすごいと思いました。

私もやってみようと「笑顔で」「近くで」「やさしく」話しかけるのを心がけました。段々と笑顔で話せるようになり、高齢者の方も笑顔でこたえてくれるようになりました。

今回の訪問で、私自身の気持ちの変化に気がきました。これまでは、「怖い」という気持ち一色だったけど、スタッフの方の対応を目の当たりにしてからは「やさしく」「近くで」「笑顔で」を意識して話せるようになりました。短い時間だったけど、みなさんに笑顔を届けられたかな。

第21回 曾於市社会福祉大会

福祉作文 2025

令和7年度福祉作文の優秀賞作品はホームページに掲載しております。心温まる子どもたちの作文をQRコードからご覧ください。



シンポジウム

災害から考える支え合う地域づくり



災害時の支え合いは、平常時のつながりから

シンポジウムは、「災害」から「支え合いの地域づくり」について考える場として、鹿児島県社会福祉協議会ボランティアセンター所長 池下真也氏をコーディネーターに行政、社協、地域の立場からそれぞれの取り組みについて発表し、意見交換を行いました。

発表者は、行政から曾於市総務課危機管理室危機管理監 吉松博幸氏、地域から恒吉校区社会福祉協議会副会長 小川原俊昭氏、社協から地域福祉課長 若松旭氏が登壇しました。

最初に、コーディネーターから、災害時における混乱や不安、恐怖といった被災者の心情や近年発生している災害の状況、そして、被災時において、ボランティアや地域の助け合いがあることにより早期の生活再建が進められること等を伝えられ、災害や地域の助け合いの大切さについて関心を高められました。



その後、登壇者の3名から平常時や災害時の取り組みについて発表がありました。

吉松氏からは、行政における災害に対する取り組みとして、被災地への支援活動や自主防災組織の強化、住民の災害意識を高める講話の実施、市が作成した「防災ガイドブック」の紹介と特に目を通してほしい内容などについて話しがあり、続いて社協からは、支え合いの地域づくりを推進する立場から、平常時の支え合いの地域づくりの取り組みや、災害時の取り組みとして災害ボランティアセンターの役割と支援体制づくりについてふれ、災害時において、普段の地域のつながりが大きな力を発揮すること、平常時の支え合いづくりにおいて災害も含めて考えながらいっしょに取り組んでいくこと等について発信し、最後に小川原氏から普段の校区社協の取り組みと実際に災害による被害を体験したことをきっかけに地域での情報共有やその中で上がった避難所の環境や住民の防災意識の低さといった問題点、問題点の解決に対する取り組みについて、地域だからこその取り組みについて伝えられました。発表後は、災害に対する準備はどれぐらいできているか、これから取り組んでみたいと考えていること等について、意見交換を行いました。

今回のシンポジウムを通じて、それぞれの立場からの発信とこれからの連携の強化、また、地域の災害に対する備えとして、支え合いの地域づくりのあり方について意識を高める意義ある機会となりました。



曾於市総務課危機管理室危機管理監
吉松博幸氏



曾於市社会福祉協議会地域福祉課長
若松旭氏



恒吉校区社会福祉協議会副会長
小川原俊昭氏

SUMMERボランティア 体験活動 2025

～ボランティアで見つける!新しい自分～

夏休み期間中、中高生を対象に高齢者福祉施設でのボランティア体験活動を実施しました。この夏のボランティア体験活動を通して、

"人とふれあう喜び" "自分と向きあい新たな自分の発見"

"福祉への理解を深める" 機会となったようです。

ご参加いただいた生徒の皆様、ご協力をいただいた施設の皆様ありがとうございました。



体験施設 グループホーム曾於 地域密着型養護老人ホーム高松すわの森 グループホーム・小規模多機能ホーム高松みどりの里



参加した生徒の 皆さんの声



曾於高校1年 永山 翼 さん

利用者の方々も色々な人がいて、人によって接し方を変えたり、その人に合わせたテンポで話すことが大切なんだなと思いました。とても楽しかったので、参加して良かったです。身近な人が認知症になったら、学んだことを意識して関わりたい!



末吉中学校1年 川本 桜衣 さん

すごく貴重な体験をさせていただき、勉強になりました。実際に認知症の方々とふれあうことで、学校では学べないことを知れて良かったです。1日目は緊張しすぎて大変でした。だけど、2日目は落ち着いて話げできました。私も慣れたのかなと思い、嬉しかったです。来年も参加したい!



曾於高校1年 上東 愛幸 さん

多くの利用者さんに関わって、とても良い機会になりました。最初は言葉(方言など)の理解が難しかったけれど、徐々に分かるようになっていきました。職員さんと利用者さんとの距離感がとても近くて懂れました。これからも人と関わるボランティアに積極的に参加したい!



財部中学校1年 坂田 恋菜 さん

初めてのボランティアでとても緊張したけど、はり絵をしたり、利用者さんとコミュニケーションをとっていくうちに緊張がほぐれました。介護施設では、体が不自由な方や話すことが難しい方もいて、一人一人ちゃんと向き合うことができました。来年はもっとお話できるようにになりたい!



財部中学校1年 吉満 由奈 さん

コミュニケーションの取り方について、色々話をきかせてもらいました。よく理解できたり、自信が持てたと思います。自分の将来のことについても色々考えさせられ、いい経験になりました。これからの生活の中に取り入れていきたいです!

在宅福祉アドバイザー研修「見守り支援講座」を開催

大隅南地区社会福祉協議会

これまで毎年認知症サポーター養成講座を開催していましたが、日頃の見守り活動の実践に繋がるような研修ができないだろうかと考えました。そこで、「見守り対象者の異変に気づく」「適切な機関につなぐ」ことを目的に今年度は「見守り支援講座」を実施しました。

曾於市社協の居宅介護支援事業所の介護支援専門員より認知症の理解と適切な声かけ方法を学び、実際に起こりうる場面を想定したロールプレイも行いました。

- ・散歩に出かけて家までの帰り道がわからなくなった高齢者への声かけ
- ・見守り訪問で「いつもと様子が違う」見守り対象者の異変への気づき

など体験的に学びながら、日頃の見守り活動での気づきについて話し合い、共有する機会となりました。

また曾於市社協の権利擁護センター職員からもセンターの役割と高齢者や障がい者等で判断能力の不十分な方の権利を擁護するための「成年後見制度」や「福祉サービス利用支援事業」の説明もいただき、理解を深めることができました。

「なんだかいつもと違うな…」という小さな違和感を見逃さず、早期に支援につなげることが、地域の安心につながります。今回の講座を通じて、地域の皆さまの見守り力がさらに高まったことを実感しました。



ち い き の う ご き

世代をつなぐふれあいの輪

岩北校区社会福祉協議会

8月21日、高齢者と小学生とのふれあい交流会を開催しました。輪投げやボッチャを通じて世代を超えた交流で、会場は笑顔と歓声に包まれ、大変盛り上がりしました。参加した子どもたちからは「地域の方とのふれあいは楽しい」との感想も寄せられ、地域のつながりを実感する機会となりました。

校区社協では、公民館と連携しながら、多世代交流を目的とした餅つきイベントのほか、85歳以上の一人暮らしの方を対象に、見守りを兼ねて子どもたちが手作りしたお米と黒砂糖の配布を行うなど、地域に根ざした活動を継続しています。また、体操教室やサロン、児童クラブなどの地域団体にも声をかけ、七夕飾りを作成して世賀神社前に奉納する取り組みも実施しました。昨年度からは、小学校の教室を活用した「ぽかぽかサロン」も開設され、児童との交流の場がさらに広がっており、これからも多世代が関わる地域づくりが期待されています。



- 曾於市共同募金委員会より -

TEL:0986-72-0460 FAX:0986-72-0425



10月から
赤い羽根共同募金運動が
はじまっています!

共同募金ってなに？

共同募金は、赤い羽根をシンボルに、「赤い羽根共同募金」として、毎年10月1日から翌年3月31日の期間、全国で募金運動が行われています。



共同募金は、「支える人を支える募金」です。地域の子どもの居場所を支える人。誰もが参加できる場づくりを支える人。日々の生活に困っている方を支える人。いきいきと暮らし続けられる地域を支える人。集まった募金は、そんな人たちの活動をはじめとした、地域をより良くする取り組みに使われています。

皆様のご協力をどうぞよろしくお願いします。

共同募金は
何に使われて
いるの？



寄付は現金のみ
ですか？



「PayPay」「クレジットカード」等で
赤い羽根共同募金へご寄付いただけます。
右のQRコードからご寄付できます。



実 習 生 よ り

社会福祉士の資格取得を目指す中で、8月4日から9月8日の26日間、曾於市社会福祉協議会で実習をさせていただきました。

実習期間中は、社会福祉協議会内の各部署で事業説明や同行訪問、会議などに参加させていただき、机上の勉強では決して学ぶことのできない貴重な経験ができました。今回の実習を通して、専門職の役割や地元である曾於市の地域福祉の取り組みについて理解を深めることができました。将来は困っている方々の力になれるよう、今回学んだことをしっかり活かして、今後もより一層勉学に励んでまいります。実習を受け入れてくださり、ありがとうございました。



鹿児島国際大学 3年 下鶴 千夏 さん

正規職員の募集について

社会福祉法人曾於市社会福祉協議会では、曾於市地域包括支援センターでの職務に従事する職員を公募します。

募集職種 (資格要件)	業務内容	募集 人数	年齢	その他
社会福祉士	曾於市内の高齢者の生活全般に関する総合相談支援業務や権利擁護業務、介護予防プラン作成業務を行います。	若干名	不問	普通自動車 第一種免許 (AT 限定可)
主任介護支援専門員	曾於市内の高齢者の生活全般に関する総合相談支援業務、介護予防プラン作成業務、地域の介護支援専門員への支援業務を行います。			
介護支援専門員	曾於市内の高齢者の介護予防や健康増進、自立支援を促す相談支援業務、介護予防プラン作成業務を行います。			

その他、詳細については、曾於市社協ホームページ又は右のQRコードからご確認ください。
ご不明な点がございましたら、曾於市社協 総務課 担当 藤田 (0986-72-0460) まで。



無料法律相談開設について

ひまわりの会による無料法律相談

○相談料：**無料**（相談者からはいただいておりません）

※1回につき相談時間は30分以内

○申込・受付方法：**事前に予約が必要です。**

○お問合せ先：

ひまわりの会 事務局 代表弁護士 山口 政幸

鹿児島市山下町12番17号2階

TEL：099-227-0041（受付：平日9時～17時）

○相談日時及び会場

会場	相談日時
財部保健福祉センター	10月16日、1月15日 (13時から16時まで)
そお生きいき健康センター	11月20日 (13時から16時まで)
大隅弥五郎伝説の里	12月18日 (13時から16時まで)

藤尾法律事務所による無料法律相談

○相談料：**無料**（相談者からはいただいておりません）

※1回につき相談時間は30分以内

○申込・受付方法：**事前に予約が必要です。**

○お問合せ先：

弁護士法人 大隅広域ディフェンダー

藤尾法律事務所 末吉支所

曾於市末吉町本町1-4-5 TEL：0986-51-9830

○相談日時及び会場

会場	相談日時
財部保健福祉センター	11月11日、12月9日、 1月13日 (13時から15時まで)
大隅弥五郎伝説の里	10月21日、11月18日 12月16日、1月20日 (18時から20時まで)

たくさんの善意に感謝いたします

曾於市社会福祉協議会では、ご寄付を曾於市民の皆様の地域福祉向上のために大切にに使わせていただきます。掲載につきましては、ご本人の承諾を得てご希望どおりに掲載しております。(R7.7.1～R7.9.30 受付分)

香典返し寄付金

財部地区

樺木野 兼治様／下大峯
匿名

末吉地区

小谷 重彦様／五位塚
柚下 敬子様／深川東
岡村 三枝子様／東法楽寺
大路 勝子様／松尾
佐野 いく様／坂元
桐野 涼子様／口弁木
植松 ノブ子様／田村
田代 壹子様／柳迫

大隅地区

高田 サエ子様／東旭ヶ丘
谷山 チエ様／東鍋
平原 亨様／平原
益永 幸三様／東鍋(霧島市)
徳永 ヨシ子様／東馬場
長崎 幸吉様／榎木段

一般寄付金品

財部地区

徳石 透様／日光
山村 阿也子様／10,000 円

末吉地区

大園 征郎様／中高松／3,000 円

大隅地区

岩川校区長寿会女性部様／
タオル・雑巾
匿名／50,000 円
匿名 1 件

遺言による寄付 遺贈をお考えの方へ

あなたの想いをかたちに

近年「自分で築いた財産の一部を地域のために寄付したい」という相談や尊いお申し出が増えています。

ご自分の意志を社会のために役立てることを目的に、安心できる方法で信用できる団体に寄付したいという思いは共通しています。

曾於市社会福祉協議会では、皆さまからお預かりした貴重な財産を、様々な地域の「福祉のまちづくり」につなげていくことが可能です。本会への遺言による寄付をお考えの方は、お気軽にご相談ください。

担当 総務課：0986-72-0460・0480

曾於市社会福祉協議会は税額控除対象法人の証明を受けています。

本会への寄付(一般寄付、香典返し等)は、現行の所得控除制度に加え、**税額控除制度**との選択が可能です。**税額控除**では、税率に関係なく税額から税額控除額を直接差し引きます。

小口の寄付にも**減税効果が大きく**、所得控除と比較してほとんどの場合、**税額控除の方が減税効果が大きく**なります。

社協公式 SNS・ホームページはこちら

＼地域福祉の様々な情報をお届けしています／



ホームページ



Instagram



公式 LINE



ボランティア募集 LINE

NEW /
ボランティア
募集のお知らせ
などを発信!

曾於市社協情報紙へのご意見はこちらから



編集後記

毎年9月21日を認知症の日、9月を認知症月間として日本中で認知症支援に関する啓発活動が行われています。曾於市内でも認知症に関する展示やポスターが掲示され、認知症支援のシンボルカラーとして採用されているオレンジ色を見かけた方も多かったと思います。私の祖母も今年94歳で亡くなりましたが、数年前にアルツハイマー型認知症の診断を受けました。しかし、昔からの友人や地域の皆さんの協力を貰いながら、亡くなる3ヶ月前まで、住み慣れた自宅で生活を送ることができました。認知症になっても家族や地域の支えがあれば、誰もが住み慣れた地域でその人らしい生活を送れることができる社会が近づいているのかなとオレンジ色を見て改めて実感したところでした。

H・T



この情報紙は、地域住民の皆様からの赤い羽根共同募金を財源に発行しています。